

みつけて!!
くだまっ

だいよんわ
第四話

れきし
ふしぎと歴史のまち
はなおか
花岡へようこそ!!

vol.4







今日
メインで紹介する
花岡八幡宮まる！



あ

.....

なにまる
その微妙な
反応は...

だってここ
昔から
来てるし

知ってるって
言うかさー

じゃあ
たかしくんは
花岡八幡宮の
名前の由来を
言えるまるか？

名前の
由来？

花と岡だから
この辺りの丘に
花がいっぱい
咲いてたとか？

フッフッフッフ
不正解まる！

花岡八幡宮の由来は
その昔、豊前国（大分県）から
宇佐八幡宮の分霊を
勧請したとき
一夜のうちに山が花で
覆われたという伝説から
ついたんだまる！※

なにそれ！
そんなことが
あったの!?

※諸説あります

ほら知ってると
思っけても
そんなに詳しく
ないまる

ぐっ…
何も
言い返せない

それに今日は
花岡八幡宮について
教えてくれる
特別なゲストも
いるんだまるよ！

特別な
ゲスト？

くだまつし かんこう
下松市観光
ボランティア
ガイドの
みなみ
三波さんまる！

こんにちは！

みなみ
三波さんは
ながねん
長年花岡で
ボランティアガイドを
しているんだまる！
この道のベテラン
なんだまる

くだまつし かんこう
下松市観光
ボランティアガイド
みなみ
三波さん

こんにちは

でも花岡については
くだまるより
みなみ
三波さんの方が
詳しいまる：
だからくやしいけど
説明役を譲るまる

こんかい
今回はくだまるが
説明するんじや
ないんだ？

くだまるも本当は
説明したかったまる

そんなに説明
したかったの？

くすん...

あの、質問
なんですけど

花岡八幡宮って
ほんとに一晚で
一気に花が
咲いたんですか？

そう言われて
いるね

本当かどうかは
わからないけど

花岡八幡宮が
建ったのは
おめでたいこと
だったんじゃないかな

おめでたい？

花岡八幡宮は
大分県にある
宇佐八幡宮から
とても格式高い
神様を分けて
もらったんだ

宇佐八幡宮は
全国に四万四千社ある
八幡宮の総本宮

そんなところの神様を
迎え入れられる喜びを
花が一晚で咲いたと
表現したと思うんだ

花岡八幡宮には
そんなにすごい
神様がいるん
ですか？

花岡八幡宮の
御神体は応神天皇、
比売大神、神功皇后

特に応神天皇は
八幡宮の主祭神で
武運の神

全国の武家から
崇敬を集めたんだ

そうだよ

豊臣秀吉!?

ってあの
日本統一した人!?

戦国時代には
周防国を治めていた
大内義隆や

かの豊臣秀吉も
花岡八幡宮に
来たんだよ

たかしくん
豊臣秀吉を
知ってるまるね

えらい
まる

あ、うん

この前やった
ゲームに
出てきたから!!

なるほどまる...

でもなんで
山口県に
秀吉が?

大坂城に
住んでたんじゃ
ないんですか?

秀吉公は
戦をするために
九州に行った
ことがあるんだ

その時に
花岡に来たという
記録があるんだよ

へー



從一位
近衛忠熙卿の
筆による
「永受嘉福」の扁額

江戸時代の
風俗がよくわかる
祭礼絵馬

そして

ド

ー

◇

／

！

でっか〜

日本一の
大きさを誇る
破邪の御太刀！

全長四・六五m
重量七五kgを誇る
大太刀で

市指定有形
文化財にも
選ばれているんだ

僕より
大きい…

身長
145cm

身長
145cm

こんなに重いもの
どうやって
使ってたんだろ



昔の下松には
巨人でも
いたのかな

破邪の御太刀は
実戦刀じゃ
ないんだよ

え？

この刀は一八五九年
幕末の時代に
「邪気を払い、
平和な社会を築く」
という願いを込め

花岡八幡宮の
氏子によって
奉納された刀なんだ

こんな
大きな刀なら
すごいパワー
ありそう…

昔はこの御太刀を
担ぐお祭りも
あったんだよ

そうだったの!?

そんな
面白そうなこと
してたんだ!

一回持って
みたかったなー

本物は触れないけど
破邪の御太刀は
レプリカがあるまる!

本物より軽いから
たかしくんでも
持てるまるよ!



他にも花岡八幡宮の境内には国指定重要文化財になっている

関伽井坊多宝塔もあるよ

多宝塔とは仏様を安置する仏塔のひとつで

四角い層の上に円形の上層を重ね四角錐形の屋根をしたものを指すんだ



へー！
そうなんだ

※関伽井坊多宝塔は室町末期の建築と推定されている。

この多宝塔は大化の改新の中心人物だった藤原鎌足が建設した

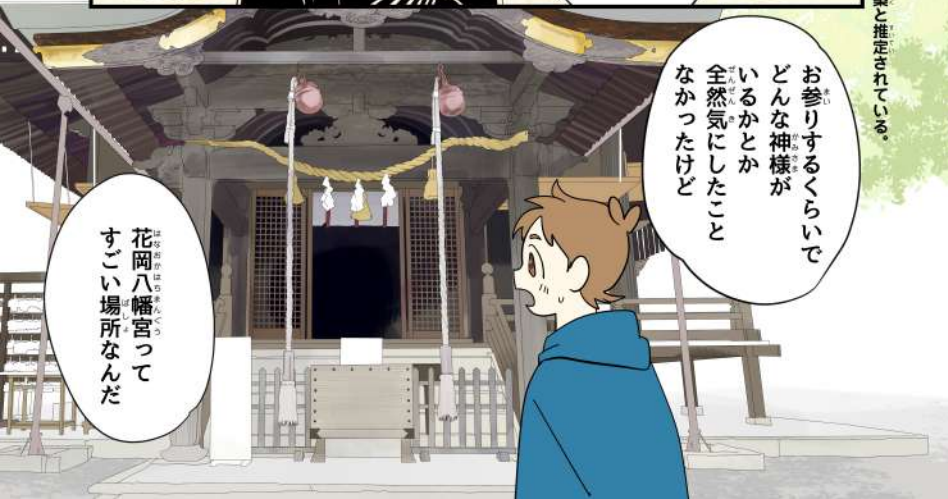
八幡宮日本十六塔のひとつ※と言われているんだ

大化の改新！
社会の授業で聞いたことある！



お参りするくらいでどんな神様がいるのかとか全然気にしたことなかったけど

花岡八幡宮ってすごい場所なんだ





さつきも言ったように
花岡は古代から
交通の要地として
栄えていたから

歴史を物語る
貴重な文化財が
数多く残って
いるんだ



都濃宰判※の政治の
中心地でもあり、
勘場、高札場、御番所
などが置かれていたし

大名が宿泊や
休憩をする
御茶屋なんかも
あったんだよ

※宰判は長州藩における郷村支配の単位で、代官の管轄する地域のことを指す。
都濃は下松市および周南市の大部分（馬神・米光・埴・夏切・高瀬・樂山および八代より南東を除く）



戦後には
きつねの嫁入りの
行列も始まって

これは全国的にも
有名なお祭りに
なっているんだ

知ってる！
狐のお面をつけて
人力車に乗る
お祭りだ！

こんなふうに
花岡は、昔から
受け継がれてきた
歴史が残っている

昔と今が
繋がっている
そんな温かさを
感じられる場所
なんだ

今と昔が
繋がってるか…

たしかに
そうかも

花岡八幡宮も
破邪の御太刀も
きつねの嫁入りも

昔の人が
大事にして
受け継いできたもの
なんだろうな

知りたい
まるか？

すごいなー
こういうところって
他にもあるのかな

ホム
4

よしじゃあ
花岡に続いて
どんどん下松の
魅力的なところ
を観に行くまる！

またか
!!



観光ボランティア
ガイドの三波さん
ありがとう
ございました!!

気をつけて
行ってきてねー

つづく





くだまつうらばなし

きつねの嫁入り

昔、花岡の上市にある法静寺の住職は仏道に励み、徳が高く
人々に大変慕われていました。

ある日、徳山からの帰り道、数珠をなくしてしまい

その夜はその数珠のことが気にかかって眠れません。

うとうとしていると、夢うつつの中で夫婦の白狐が枕元に立ち、
「わけあって『しらむが森』で亡くなった。数珠を届けに来たので
その代わりに私たちの骸を人と同じように葬ってほしい。

そうすればお寺や里を災いから守ります」と告げられました。

翌朝、住職が目覚めると数珠は確かに枕元に届いていたのです。

驚いた住職は白狐を丁重に葬り、供養を欠かさず行いました。

以来、法静寺は「失せ物が見つかる」と

靈驗あらたかに信仰を集め

参拝者が増えました。



白狐は「福德稲荷」として境内に

祀られ11月3日の「稲穂祭」や

「きつねの嫁入り」には、今も

遠近から来た多くの人で

賑わっています。



みつけて!!くだまつ④

初版発行 令和8年1月15日

漫画：やまやまや

発行：下松市観光協会

発行所：株式会社アドワン

連絡先：[https://kudamatsu-kanko.jp/
kankou@kudamatsu-cci.or.jp](https://kudamatsu-kanko.jp/kankou@kudamatsu-cci.or.jp)

本書を無断で複写複製、転載、データ配信、オークション出品等をするを禁じます。

くだまつの情報満載!
下松市観光協会の
HPはこちら

